

茅ヶ崎市自立支援協議会について

茅ヶ崎市単独で地域自立支援協議会を設置するにあたり、地域の実情に合った課題の解決に向けた取り組みをし、協議会を今まで以上に活発に機能させるために、次の3つのポイントを意識し、今後の協議会を運営していくこととします。

1 個別事例の重視

個別支援会議や各連絡会の中だけでは解決できない課題について、運営会議や各部会で整理・分析し、その結果をフィードバックできるような仕組みを作ります。

2 ワーキンググループの活用

必要に応じてワーキンググループを設置し、課題に合った関係機関や当事者等が集まり、課題をより深く議論していきます。

3 運営会議の機能強化

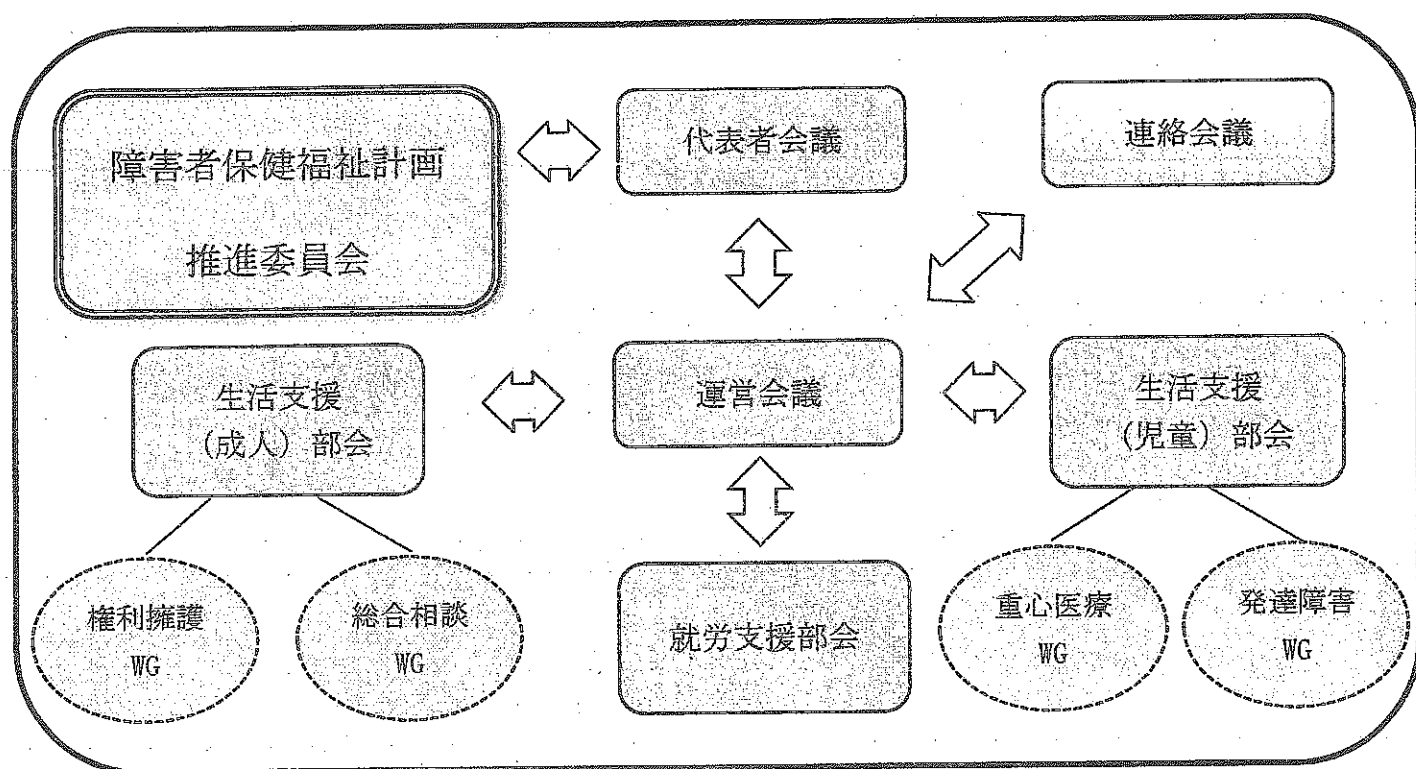
協議会のエンジンとなり、協議会全体の運営や方向性について協議する場とします。

各会議の機能について

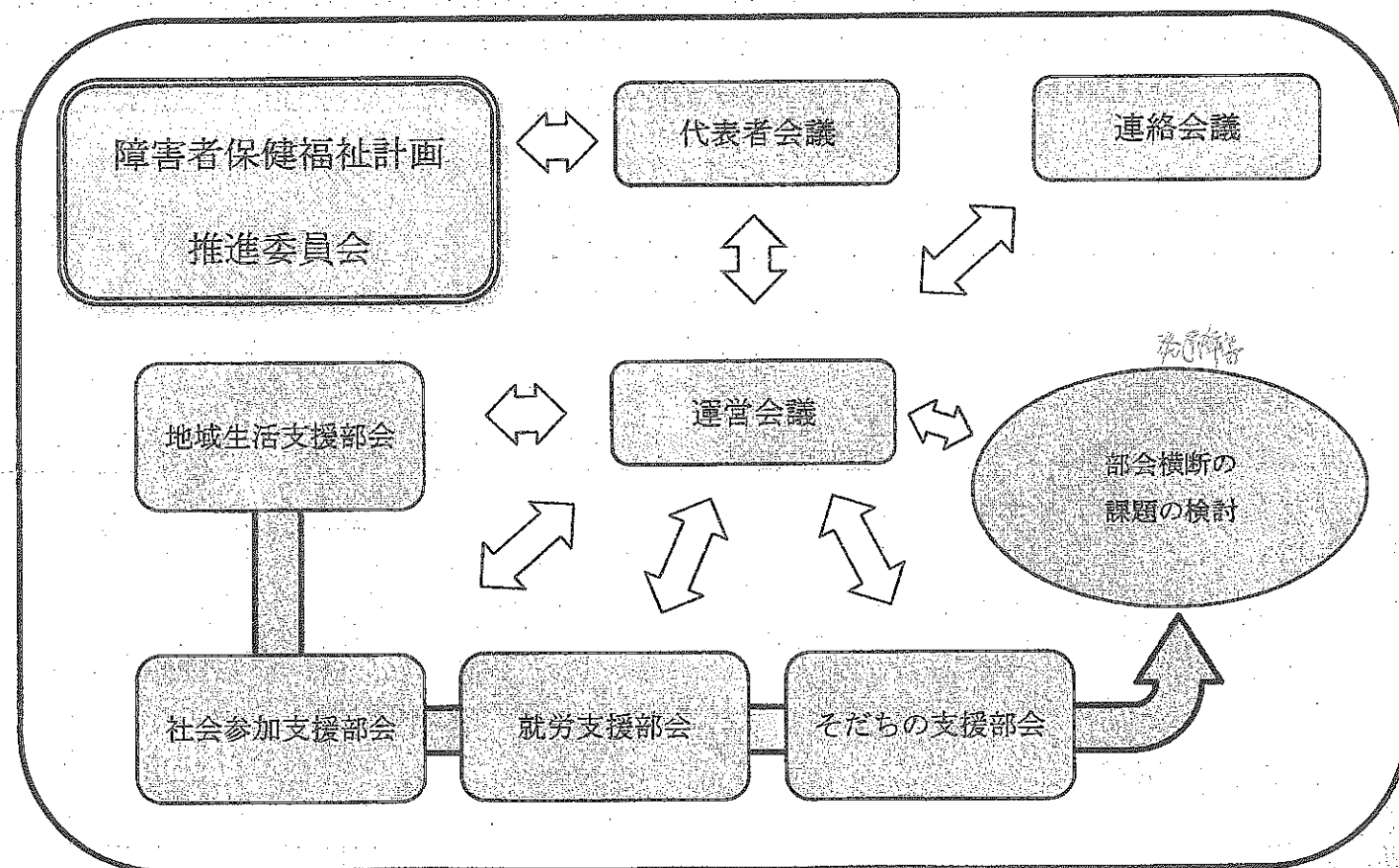
会議の名称	機 能
代表者会議	各部会から現状の報告を受け、全体で課題を確認し、部会への助言や市へ課題の提案等を行います。
運営会議	代表者会議・部会・ワーキンググループにおける課題を整理し、総合的な進捗管理を行います。また、協議会の運営スケジュールの作成、管理を行います。
部会	情報を共有し、個別事例を含めた課題を抽出することによりワーキンググループの活用について検討します。また、ワーキンググループでの調査・協議を踏まえ、代表者会議への報告と整理を行います。
ワーキンググループ	特定の課題ごとに議論を深め、期限を決めて計画的に調査・協議を重ね、部会にその結果を報告(提案)します。
連絡会議	茅ヶ崎市と寒川町との情報の共有を図ります。また、研修会等の共同開催について調整を行います。

個別支援会議	Aさんの支援について必要な関係機関が集まって協議をします。本人のニーズに沿った支援になっているか、相談支援体制や個別支援計画を整理します。現状ではできないことを確認・共有し、地域のニーズや課題を抽出します。
連絡会(任意団体)	障害者の福祉の向上を資することを目的とします。

茅ヶ崎市自立支援協議会組織図（平成 25 年度まで）



茅ヶ崎市自立支援協議会組織図（平成 26 年度以降）



平成26年度以降の「茅ヶ崎市自立支援協議会」部会のあり方について

1 部会の枠組みについて

茅ヶ崎市自立支援協議会第4回運営会議（H25.10.24開催）にて協議いたしました「平成26年度以降の部会のあり方」について、内容を整理し、次のとおり4つの部会を設定いたしました。

各部会で検討すべき課題のキーワード及び障害者保健福祉計画の施策体系においてどの施策の方向性に該当するかは次のとおりです。

地域生活支援部会	障害者保健福祉計画	
・ 支援者間の連携 ・ 支援システムの構築 ・ 暮らし・・・等	「1-2 相談する」 「1-3 理解を深める」 「3-1 住まう」 「3-2 生活する・利用する」	（基本方針1） 身近な地域の支援体制の強化 （基本方針3） 障害者の生活基盤の強化
社会参加支援部会	計画	
・ 権利擁護 ・ 移送の支援 ・ 当事者参加 ・ 災害 ・ コミュニケーション支援 ・・・等	「1-1 知る」 「1-2 相談する」 「3-2 生活する・利用する」 「3-3 人権を守る」 「4-2 社会参加・交流」 「6-1 安心して暮らす」	（基本方針1） 身近な地域の支援体制の強化 （基本方針4） 社会参加と自己実現への支援 （基本方針6） 安全・安心のまちづくりの推進
就労支援部会	計画	
・ 所得保障 ・ 障害者雇用の普及促進 ・・・等	「4-1 働く」	（基本方針4） 社会参加と自己実現への支援
そだちの支援部会	計画	
・ 教育との連携 ・ 放課後支援 ・ 医療機関との連携 ・・・等	「2-1 すこやかに生きる」 「5-1 学ぶ」	（基本方針1） 身近な地域の支援体制の強化 （基本方針2） 障害者の健康を支える支援 （基本方針5） 障害のある子どもの成長支援

茅ヶ崎市自立支援協議会構成員について

●代表者会議【事務局 茅ヶ崎市】

No.	団体名称
1	茅ヶ崎市身体障害者福祉協会
2	特定非営利活動法人松の実会
3	茅ヶ崎市肢体不自由児者父母の会
4	茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会
5	茅ヶ崎手をつなぐ育成会
6	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
7	茅ヶ崎・寒川居宅事業所連絡会
8	茅ヶ崎市地域作業所連絡会
9	茅ヶ崎市・寒川ホーム連絡会
10	茅ヶ崎市・寒川町日中一時支援事業所連絡会
11	藤沢公共職業安定所
12	湘南地域就労援助センター
13	茅ヶ崎保健福祉事務所
14	神奈川県中央児童相談所
15	茅ヶ崎養護学校
16	茅ヶ崎市社会福祉協議会
17	社会福祉法人 翔の会
18	社会福祉法人 碧
19	茅ヶ崎市社会福祉事業団
20	そだちの支援部会
21	就労支援部会
22	社会参加支援部会
23	地域生活支援部会

オブザーバー

No.	団体名称
1	茅ヶ崎医師会

●運営会議【事務局 茅ヶ崎市】

1	障害者生活支援センター
2	地域生活支援センター元町の家
3	生活相談室とれいん
4	相談支援センターつみき
5	そだちの支援部会
6	就労支援部会
7	社会参加支援部会
8	地域生活支援部会

●地域生活支援部会【事務局 生活相談室とれいん】

No.	団体名称
1	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
2	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
3	茅ヶ崎市・寒川居宅事業所連絡会
4	茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会
5	茅ヶ崎市地域作業所連絡会
6	茅ヶ崎市・寒川ホーム連絡会
7	茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会
8	茅ヶ崎保健福祉事務所
9	医療法人社団朋友会 けやきの森病院
10	福祉相談室連絡会議
11	茅ヶ崎市障害福祉課

●社会参加支援部会【事務局 障害者生活支援センター】

No.	団体名称
1	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
2	茅ヶ崎市・寒川町日中一時支援事業所連絡会
3	茅ヶ崎市・寒川居宅事業所連絡会
4	茅ヶ崎手をつなぐ育成会
5	茅ヶ崎市地域作業所連絡会
6	茅ヶ崎市民生委員児童委員協議会
7	特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオンブズマン
8	茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会
9	茅ヶ崎養護学校
10	福祉相談室連絡会議
11	茅ヶ崎市障害福祉課

●就労支援部会【事務局 地域生活支援センター元町の家】

No.	団体名称
1	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
2	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
3	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
4	特定非営利活動法人松の実会・茅ヶ崎市地域作業所連絡会
5	茅ヶ崎養護学校
6	藤沢公共職業安定所
7	湘南地域就労援助センター
8	神奈川県障害者就労相談センター
9	茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会
10	福祉相談室連絡会議
11	茅ヶ崎市産業振興課
12	茅ヶ崎市雇用労働課
13	茅ヶ崎市障害福祉課

●そだちの支援部会【事務局 相談支援センターつみき】

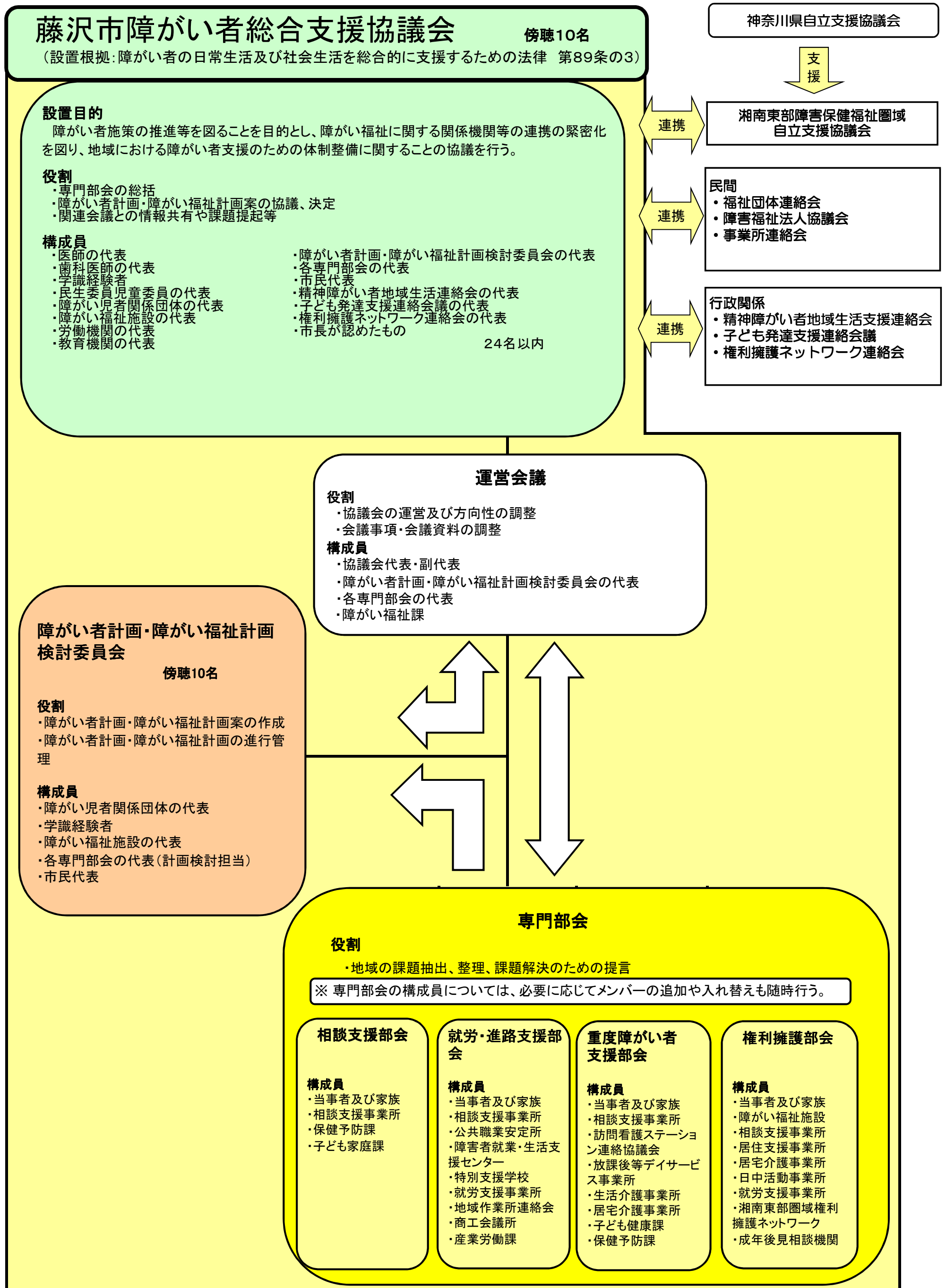
No.	団体名称
1	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
2	茅ヶ崎市障害者施設連絡会
3	茅ヶ崎市肢体不自由児者父母の会
4	茅ヶ崎市・寒川町日中一時支援事業所連絡会
5	茅ヶ崎市・寒川町相談支援事業所連絡会
6	茅ヶ崎保健福祉事務所
7	茅ヶ崎養護学校
8	神奈川県中央児童相談所
9	福祉相談室連絡会議
10	茅ヶ崎市教育委員会学校教育指導課
11	こども育成相談課
12	茅ヶ崎市障害福祉課

H26年度茅ヶ崎市自立支援協議会の状況

部会名	事務局	開催頻度	内容
地域生活支援部会	とれいん	年3回 WGが年2回	・地域の相談支援のネットワークについて (相談の24時間体制、こみゆねっと茅ヶ崎の体制づくり) →茅ヶ崎市の警備室(24時間体制)にどのくらい相談があるか？ 障害、高齢、児童の相談の中に、24時間受け付けている窓口がどのくらいあるか？ 24時間の本人からのニーズがどれくらいか？課題を整理しているところ。 WGの構成メンバーは部会の委員。
社会参加支援部会	茅ヶ崎市社協	年3回	・相互理解を目指した地域交流 (地域で共に暮らしていくこと) →地域の人と当事者が交流しながら知り合えるように、部会でどう取り組んでいけるか検討中。各委員の中で取り組んでいけるようなことを意見交換。 今後、イベントなどの具体的な話になっていけば、部会以外でも検討が必要になってくるかもしれない。 ・移動の支援に関すること
そだちの支援部会	つみき	年3回 臨時で1回	・昨年度のWGの内容を継続 医療ケア→支援者向けの冊子の見直し 支援がとぎれないようにするには？ アンケートで情報を集める。 発達障害→現状の共有まで
就労支援部会	元町の家	年3回 WGが4つ	・昨年度からのWGの内容を継続 ◎課題検討WG→2回開催 ◎企業連携WG→3回開催 ◎グループワークWG(当事者向け勉強会)→5回開催 ◎工賃アップWG→2回開催 部会では、WGの報告。WGの構成メンバーは、委員、自由参加者、部会長、副会長、元町の家。 就職先がない、企業への障害特性の周知、定着支援が課題。
部会横断の課題検討	茅ヶ崎市 障害福祉課	年2回	発達障害の方への支援について検討 事例検討会開催 構成メンバーは、各部会の部会員を募って出席してもらっている。

会議名	事務局	開催頻度	内容
代表者会議	茅ヶ崎市 障害福祉課	年3回	各部会の報告
運営会議	茅ヶ崎市 障害福祉課	年8回	各部会の進捗状況の確認、代表者会議の打ち合わせ

平成26年度藤沢市障がい者総合支援協議会 関連図



H26年度藤沢市障がい者総合支援協議会の状況

部会名	開催頻度	内容
相談支援部会	隔月	◎計画相談について ・計画相談の進捗管理 ・受給者証の進捗管理 ・セルフプランのあり方を検討中 ◎相談支援体制 ・基幹相談支援センター、委託、指定、専門相談と事業所が増えているので、今後の役割、機能をどうするか？ →体制づくりを検討中 ・基幹相談支援センターが事業所を開拓し、事業所増えている→質の向上が課題
就労・進路支援部会	年4、5回	・障害者優先調達推進法について→カタログ作り ・養護学校卒業時にサービス等利用計画が必要になる学校向けに事業所説明会、福祉サービスの説明会を開催 ・学校卒業後の進路の課題
重度障がい者支援部会	年4、5回	・相談支援部会でアンケート調査をし課題が多く、部会になった。 ・昨年度ライフステージごとの支援について、今年度再度アンケート調査を行う。 ・医療ケアが課題→医療機関の理解 医療ケアの必要な方のサービスがない 相談になかなかつながらない
権利擁護部会	年4、5回	◎要護者の虐待についての検討 →藤沢市の虐待防止センターの進捗状況 →事業所向けの研修会開催 →アンケートで実態調査

会議名	開催頻度	内容
藤沢市障がい者総合支援協議会	年4回	◎部会の報告
運営会議	年4回	◎代表者会議の前に開催

二宮町・大磯町障害者自立支援協議会の状況

会議名	事務局	開催頻度	内容
本会議	二宮町 大磯町 素心会	年2回	・地域の課題について ・各事業所・機関からの報告 ・困難ケースの検討 など

構成員

25名以内

- ・障害者団体の代表者
- ・二宮町、大磯町民生委員児童委員協議会が推薦する者
- ・障害福祉サービス事業所の代表者
- ・関係行政機関の職員
- ・その他二宮町長、大磯町長が必要と認めた者

会議名	事務局	開催頻度	内容
部会 (地域での課題について)	二宮町 大磯町 素心会	2, 3ヶ月に 1回	・就労→発達障害の方の就労について ・児童→◎障害児の親御さんの就労問題 →放課後等デイサービスの利用 についての課題 ◎早期療育やサービス導入がスムーズにできるような行政間やサービス事業所につなげるシステム体制について ・医療ケア→資源がないことが課題。 ・困難ケースの会議について →地域のケースとして共通認識を持ってもらい、協力体制を気づけるように、ケースの紹介。 ・湘南西部保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンターのネットワーク会議の報告 など

構成員

その課題によって構成員は分けている。
二宮町、大磯町の障害福祉サービス事業所
関係行政機関の職員
湘南西部保健福祉圏域地域生活ナビゲーションセンター など

会議名	事務局	開催頻度	内容
基礎講座 (障害について 広く地域の理解を 深める)	素心会	年2, 3回	発達障害の理解 高次脳機能障害の理解 など

勉強会(二宮町・大磯町障害者自立支援協議会以外)

- ・サービス等利用計画について事業所向けの説明、事業所開拓
- ・法の解釈について
- ・職場開拓について など